

# SSHだより

第3号



東京都立日比谷高等学校

## 野外実習報告

### ① SSH 生物臨海実習

10月4日(日) 神奈川県 芝崎・三ヶ下海岸

4月26日に予定していた生物臨海実習でしたが、10月4日に芝崎・三ヶ下海岸において実施することができました。昨年度に引き続き、「生物の多様性」と「環境への適応」をテーマとした実習でしたが、海藻が繁茂し、水温が上がりが始める春のにぎやかな磯とは違い、少し落ち着いた磯ではありましたが、生物の多様性を感じることができたと思います。心地よい秋晴れの下、実習の前半は、1年生と2年生の参加生徒25名が4班に分かれて、磯の生物の観察・採集を行いました。後半は、事前に決めていた4つの生物分類群の担当グループに分かれて、再度磯に出て観察を行い、それぞれの生物がどのような環境にどのように適応して生きているかをじっくり観察しました。その後、昼食をはさみながら採集した生物の同定、観察から得られた各生物の生態などの情報を共有し、それぞれの生物が環境へどのように適応して生きていたかを話し合いました。自然や生物の見方や考察の視点を学び、観察することで、今までにはなかった気づきや疑問が生まれたようでした。また、主体的、協働的に学ぶことで深い学びができたようです。



### ② SSH 地質巡検

10月24日(土) 神奈川県 三浦半島・城ヶ島

昨年に引き続き神奈川県、三浦半島の城ヶ島で地質巡検を実施しました。以前は秩父長瀬地方で行っていましたが、一昨年から城ヶ島で実施しています。城ヶ島では、地質調査の基本事項や調査器具の使用方法について学んだ後、級化構造や斜交葉理、火災構造、海食洞、断層など、珍しい地質構造を見学することができました。参加者は1年生25名でした。SSHのフィールドワークに参加した人は、レポートを作成しています。今年度の巡検レポートも理科ホールに掲示します。



# 英語による分子生物学講座

12月15日、本校の第1生物教室にて、英語による分子生物学講座が行われ、1年生を中心とした33名が参加しました。東海大学医学部教授の権藤洋一先生をお招きし、ゲノムとは何かといった遺伝学の基礎や、今年、ノーベル化学賞の対象となったゲノム編集について英語でお話いただきました。権藤先生の「私の言うことを信じるな。批判的に聞きなさい。」という言葉が印象的でした。また、意見は多様であるという前提のもとでお話くださり、生徒が様々なことを考えるきっかけを与えてくださいました。生徒たちの質問にも最後までご対応くださり、とても有意義な時間になりました。

## ●参加生徒の感想（一部抜粋）

「ゲノム編集は人の短所を平均的なものにするだけでなく、平均的なものから長所へと変化させることもできる画期的な技術である。しかしその長所は悪い一面もあるため、それが本当の幸せにつながるとは限らない。この考え方は今まで私の中に無かったので、これからゲノム編集について倫理的な観点から考える際にも忘れないでいきたい。」

「大部分は理解できると思ったのですが、詳しくなると私の英語の知識が足りないせいで難しいと感じるところがありました。普段の英会話などで使える単語はもちろん大事だと思いますが、自分が進みたい分野の専門用語を少しずつ身につけるようにしようと思いました。」



## 参加募集

詳細は校内の掲示等を見てください。

### SSH 講演会『地震に強い建物』

1/13(水) 15:30~17:00(予定)

場所:第2物理教室

### SSH 生態学講座

実習: 1/17(日)高尾山、2/7(日)目黒

事前学習会あり 申込〆切:1/8(金)

## SSH課題研究 I 連絡事項

2021年1月27日に、研究論文提出を予定しています。論文提出に向けて、各自で研究をまとめていただきます。困ったことがあったら、担当の先生に相談してください。